



2010-2011

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2710

2010年11月号

VOL. 5



「お通り」の母衣行列／庄原市東城町
ほろ

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	地区大会のお礼	10
ロータリー財団改革と当地区の対応策	3	ガバナー月信についてのアンケート	11
ロータリー財団について思う	4	会員増減・出席率	12
ロータリー財団 国際親善奨学生だより	5	第2710地区グループ紹介	14
青少年交換プログラム	6	新会員紹介	14
来年度国際親善奨学生 募集要項	7	文庫通信	15
クラブ紹介	8	地区大会フォトギャラリー	16

地区ホームページ (HP) をご覧ください <http://ri2710.com/>

アンケート (本紙11ページ) の回答はHPからもできます

公式訪問〈広島西RC～徳山RC〉20ヶ所の記録も地区ホームページに掲載しています。



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～



国際ロータリー第2710地区

ガバナー 前田 茂



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS／地域を育み、大陸をつなぐ



ガバナーメッセージ

ガバナー 前田 茂

ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団月間として、11月が位置づけられています。R I 理事会は、1956年11月の中旬をロータリー財団週間に指定し、1982年に11月をロータリー財団月間に格上げして今日に至っています。

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。ロータリー財団とは、全世界のロータリー会員からの寄付金を基金とする世界最大の国際育英非営利財団法人であります。

「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援する」と2002年に改定されています。

1916-17年度国際ロータリー第6代会長アーチ・C・クランプが国際大会で「全世界的規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で良いことをするための基金を作ろう」と提案し採択され、ロータリー基金（アーチ・クランプ基金）として発足したのがロータリー財団の始まりであります。（同年、ライオンズ・クラブが創立）

最初の寄付金は極めて唐突な提案であったため、その翌年米国ミズーリ州カンザス・シティで開催された国際大会の余剰金26ドル50セントであったと言います。1928年ミネソタ州ミネアポリスの国際大会でロータリー財団(The Rotary Foundation ; TRF)と改称され、当時の基金は5739ドル7セントとなっていました。1929年の大恐慌の中、国際障害児協会へ500ドルの小切手が贈られたことが財団としての最初の仕事となっています。本格的な活動は、P・ハリスの没後まで持ち越されることになります。1947年1月27日、P・ハリスの逝去に対し全世界から寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられるようになり、財団はポール・ハリス記念基金を設け、財団強化のために寄付をするよう要請したところ、翌年7月までに130万ドル余の寄付金が寄せられた

ということであります。これらの基金をもとに国際親善奨学生を選考・支援することで、ロータリーが他国へ派遣する親善大使として活躍する人材育成に寄与することになるわけであります。元国連高等弁務官の緒方貞子氏は、日本から派遣された財団奨学生の第2号であり、この制度がいかになにに有意義な、未来に向けた投資であることを証明するものであります。

国際親善奨学金は、地区財団活動基金(District Designated Fund ; D.D.F.)から拠出されています。現在まで3万人余の元国際親善奨学生が全世界で活動し、世界理解と平和に貢献しています。このプログラムの成功が飛躍的發展につながるようになります。

《ロータリー財団のプログラム》

ポリオ・プラスは国際ロータリーの特別プログラムであり、ポリオの撲滅証明がなされるまでは他のプログラムに対して最優先されます。

〈教育的プログラム〉

- 国際親善奨学金
- 研究グループ交換
- ロータリー世界平和フェローシップ
- 大学教員のためのロータリー補助金

〈人道的プログラム〉

- 地区補助金
- 保健飢餓追放及び人間性尊重(3H)補助金
- マッチング・グラント
- ボランティア奉仕活動補助金

などですが、世界100地区(日本では6地区)で試験実施し、2013年より新しい制度導入により統廃合が研究されています。より一層大きく豊かに、そして大胆に改革がされることになります。



ロータリー財団改革と 当地区の対応策(その2)

地区ロータリー財団委員会カウンセラー 川妻 二郎

2009-10年度ガバナー月信11月号の続きとして

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710



ロータリー財団改革と 当地区の対応策

地区ロータリー財団委員会カウンセラー 川妻 二郎



「ロータリー財団 未来
の夢計画」が発表され、

2013年7月から全世界で実施ということです
が、2010～11年度から3年間はパイロット地
区(世界で100、内日本は6地区)が先行して
新制度の検証実施に当たります。片やわれ
わのようにパイロット地区にならなかった地
区は2013年6月までは現制度のままですが、
新制度に移行するための準備を2012年6月
末ごろまでに済ませておかねばなりません。

財団改革で何がかわるかですが、年次寄
付が3年間資金運用された後、半分が世界
活動資金(WF)に、半分が利用枠として地
区へ還元され地区活動資金(DDF)にとい
うところまでは従来と変わりません。新制度では
このDDFが更に2分され新しい地区補助金
とグローバル補助金になります。

新しい地区補助金が発生出来るのは、従
来のような比較的少額の地区補助金や人道
的でない奨学金などで地区の裁量に任せら
れます。もう一方のグローバル補助金という
のは、人道的な奨学金や大型のマッチング・グ
ラントで継続性も認められるようです。人道的
という基準は厳しく査定され(6つの重点分野)
また計画段階から財団本部との連携が求め

られるとのこと。

なぜ今改革なのでしょう。財団90年のプ
ログラムと現状あるいは将来を見るとき、プ
ログラムの対象ニーズがすっかり変わって来
ており、構造的な変更が求められていること、
近年のマッチング・グラントの拡大に財団本部
の処理対応が難しくなっていることが原因と思
います。地区裁量の部分が出てきたことは喜
ばしいことですが、反面責任が重くなってい
ることも重要なことです。

そこで当地区として準備対応をどうするか
です。2012年7月から具体的な業務が発生
することが、最近の財団の動きから予測され
ますから、つぎのような対応が必要と考えて
います。

1) 財団についての理解度の向上

2) 地区の裁量で運用する管理能力の向上

3) グローバル補助金に対応するプログラムの種探し
これらの改革に対応出来るような地区財団
委員会組織が必要という新しい提案が地区
長期ビジョン委員会へ提出され諮問委員会
でも承認されました。この委員を地区全体か
ら募集を試みたらという意見も出ているとこ
ろです。



地区として準備すること

- 1) 財団として基本的な更なる理解度向上が
重要です。グループ別財団勉強会を、昨
年と同様11月から実施する予定です。
- 2) 地区の裁量で運用するプログラムの企画
と管理することの能力向上が求められて
います。とりわけ現行制度の国際親善奨
学生やGSEなどは2012年6月末で終了
となりますが、これらに代わるプログラ
ム中、地区の裁量で出来るものについて
どうするか、また当地区財団関係のプ
ログラム管理や資金管理などの管理能力を
どう整備してゆくかも重要な仕事です。
これらに対応する為に11月から未来の夢
計画準備委員会を立ち上げます。
- 3) 大型で長期継続可能なグローバル補助金
に対応出来るプログラムの種さがしと育
成も時間のかかる仕事ですから、動かね
ばと思います。
- 4) 対応策を効果的に進めるためにも先発パ
イロット地区との意見交換も予定してい
ます。

クラブにおいて準備して頂きたいこと

- 1) 財団関係寄付がガバナーからの要請通り
事務的にも整備されているか、確認して
ください。
- 2) 2011-12年度からクラブ財団委員長は3年
委員、2年委員、1年委員として決めて頂
ければこれから先、財団の補助金対応が
スムーズにできると思われるので、まだ
のクラブはよろしくお願いします。
(2月頃に委員長が新しく決まると、夢計
画では3月末の締め切りに対応出来な
くなるからです。前述のような委員制に
しておけばプログラム実施年度へ向けて余
裕を持って取り組めるからです。)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS/地域を育み、大陸をつなぐ



ロータリー財団について思う

2010-11年度
ロータリー財団委員会 委員長 小田大治

岡田年度から始まった地区事務局の固定化。地区役員を3年間務めるシステムの最初の一年目は、ガバナーエレクトと同様に現役役員の見習いの立場になりました。また、最初の半年間は言葉が理解できず、後から調べる始末でありました。

年が明け、地区補助金の検討が始まりました。川妻カウンセラー、伊賀R財団委員長(岡田年度)両氏を中心に、有馬孝志補助金担当委員長(岡田年度)の経験をもとに藤谷博義補助金担当委員長(前田年度)の苦戦が始まります。

岡田年度の経験を頼りに協議し、募集開始時期を1ヶ月早める事としました。地区の保有するDDFから概算で該当枠を設定しますが、この点も岡田年度の経験から来る事が大いに参考となりました。これもまた、事務局が固定化されたことでの利点であります。川妻カウンセラー並びに伊賀委員長の指導が無いと迷走どころか本当に大変なことになっていたと想像されます。また、所属クラブの力量が無いと、地区の運営はかなり困難で、3年制度のお陰でなんとかかろうじて運営しています。これまで個々に事務局を設営し、一から積み上げられた先陣クラブには頭が下がる思いであります。

3月初旬、ロータリー世界平和フェローに参加し、国際基督大学からの研修旅行受入は当地区の伝統的行事とし寄与していると聞かされ、認識の甘さに落胆致しました。

PETSでのR財団分科会同様に、地区協議会においても分科会を経験する事になり、会員皆さん

の熱心さに驚きと感銘を受けました。

並行して、地区補助金申請を締め切り、審査検討を実施しました。3年前の金子年度によって集められた会員皆様の寄付が、R財団の運用を経由しDDFとして地区に戻ってきて、更に各クラブの奉仕活動の一部に使用される仕組みです。ただ、日本人の物差しと米国人とは隔たりがあり、私達が良かれと思った申請が受理されにくい現状がある事を知りました。

国際親善奨学生との面接会を2回経験致しました。予算さえあれば、この優秀な学生を全員奨学生として送り出す事ができたはず。篩にかけ選考する事は、この優秀な学生の運命すら変えることに通ずることになります。とても辛い任務です。申請者の皆さんはかなり優秀で、今後なんとかしてできるだけ多くの「現代遣唐使」を送りだせるように願っております。

財団への寄付を、いったいどこにどう使っているのだろうか？ごもっともであります…。が、そこを何とかし寄付をする。寄付が難しければ、せめてロータリーカードに加盟していただければ、気付かないうちに世界中のRCが実行している素晴らしいプログラムに参加する事ができるわけです。この点は近くHPなどでお知らせできるようにできたらと思って検討しております。

地区の役員を経験する事はとても大変ですが、この経験を通じて面白くも感じると、一様に皆さん話されています。是非楽しい経験をお勧め致します。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ★ハイライトよねやま128号★ 2010年10月13日発行

今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 米山月間へご協力ください —
2. G E T Sで米山記念奨学事業を紹介
3. 10月は米山月間です！
4. 台湾学友会の日本人支援奨学金、第2期生決定
5. 日中関係の悪化に奨学生・学友たちは……

▼ PDF版はこちらをご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight128_pdf.pdf

ロータリー財団 国際親善奨学生だより

2010-11年度 国際親善奨学生

中野 隆基

大阪大学 外国語学部 比較文化講座スペイン語専攻4年

～ボリビア留学を直前に控えて～

留学機関：サン・アンドレス国立大学(人類学)

スポンサークラブ：三原RC

ついにボリビア留学まであと10日間を切りました。まだはっきりと実感は湧いていませんが、留学先の生活のことを考え、とてもわくわくしています。

私がそもそも南米のボリビアを、国際親善奨学生として留学先に希望したのは、少々長い経緯があります。私は旧大阪外国語大学に入学し、スペイン語を専攻し勉強し始めましたが、最初希望していた英語を成績が足りずに専攻できず、入学当初は不満を抱えながら大学生活を送っていました。スペイン語なんて英語に比べれば大して重要な言語ではないと思っていたのです。しかし、その考えは「人類学」という学問に出会ってから大きく変わることになります。

人類学は、様々な世界における人類の「違い」に着目し、その違いを相対化すると同時にその中で普遍性を探求することで、異文化理解を迫するという学問です。要するに「違い」を前提とした「普遍性」が異文化理解には重要であるという考え方。これは英語だけでできれば世界を理解したことになると当時信じ込んでいた僕には大変衝撃的で、専攻の「スペイン語」の世界と向き合うきっかけになりました。そして「何故、ボリビアなのか」ということですが、それはボリビアという国が南米スペイン語圏の国の中でも先住民人口が多く、民族的に多様であり、歴史的に先住民運動が盛んなため、「民族的多様性の中の異文化理解」という自分の学問的関心を迫及するのにはうってつけの国だったからです。また親善奨学生の派遣人数が少なく、「この学ぶことがたくさんある国と日本との架け橋になりたい」と思ったのも奨学生に応募するきっかけになりました。

今年8月には1カ月ほど直接留学先のラパスに行き、現地ホストクラブ「ソボカチ」と東広島21クラブ

と交流のある「チュキアゴ・マルカ」と交流してきました。

ソボカチの例会では、8月6日はボリビアの独立記念日であると同時に、実は広島原爆投下日でもあること、スペイン語で平和を意味する「ラパス」と、平和を世界に発信する「ひろしま」とのかけ橋として、これから頑張っていきたいと伝えました。

チュキアゴ・マルカでは、東広島21クラブ土肥慎二郎前会長にご紹介いただいた長谷川幸雄さんという方にお会いし、水痘症の治療バルブのための寄付イベントに参加させていただきました。

10月の留学開始後も、ロータリーを通して自分の研究・勉強と親善大使としての役割を果たしていきたいと思っています。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度

国際ロータリー 第2710地区 青少年交換プログラム

青少年交換委員長 灘岡直隆



『第2回 青少年交換委員会』
『2010-11年度 受入学生オリエンテーション』
『2009-10年度 派遣学生帰国報告会・オリエンテーション』
『受入学生・派遣学生 歓迎懇親会』【報告】 2010.10.4.

2010年9月26日(日)ホテルグランヴィア広島において、前田ガバナー、田村ガバナーエレクトにご出席頂き、『第2回青少年交換委員会』『2010-11年度受入学生オリエンテーション』『2009-10年度派遣学生帰国報告会・オリエンテーション』『受入学生・派遣学生歓迎懇親会』を開催しました。

まず青少年交換委員会では、2010-11年度派遣・受入学生について状況の確認、2011-12年度派遣希望学生の申請状況、2009-10年度派遣学生の帰国後の状況について報告を行いました。その後、2010-11年度受入学生オリエンテーションでは、受入学生・ホストファミリー・カウンセラーの自己紹介、受入状況、受入学生年間予定、各種提出書類の説明などを行いました。

続いて行われた2009-10年度派遣学生帰国報告会・オリエンテーションでは、2009-10年度派遣学生の帰国報告、カウンセラー・保護者の感想や報告、本会の補佐を行っているROTEXの自己紹介、ROTEXのロータリークラブに対する協力活動内容、地区大会を含む年間予定などについて説明を行いました。

受入学生・派遣学生歓迎懇親会では、多くの喜びの声や辛い時期を乗り越えた達成感等について語る心に残る素晴らしいスピーチに耳を傾け、そして受入学生と帰国学生達がお互いコミュニケーションをとりながら、楽しく唄うカラオケも聞く事が出来ました。

過ぎてみれば短く感じる一年間の間に、学生達は海外の文化・伝統・習慣など多くのことを経験・吸収し、そして海外の人達からみる日本の印象を直接聞き、また日本の素晴らしさも相手に伝え、帰国学生達はより大きくたくましくなって無事帰国しました。

その様なわが子に対し、ご両親の皆さまは、ほんとと安心すると共に子供たちを頼もしく思い、そしてこのプログラムに対し多くの感謝の言葉を話されていました。

今後もこのプログラムに対し、ロータリアンの皆さま方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



■ 青少年交換プログラム(長期交換)を通じ、帰国学生が留学中に得た事(帰国報告書より抜粋)

- ・新しい事にチャレンジするという積極性と他国とのコミュニケーションの大切さを学んだ。
- ・自分自身を磨く事が出来た。
- ・友人が増えた。
- ・当たり前だと思っていた日常に感謝出来るようになった。
- ・自分自身が「日本人であるという事」を改めて自覚するきっかけになり、日本の事をもっと学び、日本人らしく日本の文化を大切にしていきたいと思った。
- ・人前に出るのが恥ずかしくないと思えるようになった。
- ・両親の有難さがわかった。
- ・留学生活は私の人生の大きな第一歩となり、この経験は将来の自分に必ず役に立つと思う。これからも是非ロータリーという名に関わっていきたい。

■ 2010-11年度 受入学生 (敬称略 順不同)

Victoria Marie BAUER

(萩) ←アメリカ(東ネブラスカ・西アイオワ)

Stratton Cording GAINES

(山 口) ←アメリカ(テキサス)

Brett Matthew Hyska

(広島西) ←カナダ(ブリティッシュコロンビア)

Dajana BOZEK (広島東) ←ドイツ

Ylva Maria FORSBERG (東広島) ←スウェーデン

■ 2009-10年度 派遣学生 (敬称略 順不同)

松本 直樹 (下 関) →アメリカ(ウエストバージニア州)

木村 美裕 (山 口) →カナダ(ブリティッシュコロンビア州)

平谷 光 (徳山東) →アメリカ(ミシガン州)

川上 玲奈 (広島西) →アメリカ(ミネソタ州)

槇野 文花 (広 島) →アメリカ(カリフォルニア州)



2012-13年度 ロータリー財団 国際親善奨学生

【募集要項】

1. 目的

異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進するため、このプログラムは大学学部生や大学院生のほか、職業関連の研究を希望する有資格の専門職者を対象に、数種の奨学金を提供しています。外国に留学中、奨学生は国際親善使節としての役割を果たし、ロータリークラブやその他の団体で、母国に関するスピーチや発表を行います。帰国後は、留学中の親善使節としての体験談をロータリアンやその他の人々にお話しいただきます。

2. 奨学金の種類

1) 一学年度国際親善奨学金

海外への一年間(9ヵ月)の留学のために一律27,000米ドルの奨学金を授与するものです。

この奨学金は、往復交通費、授業料と学費、下宿費、教材費の関連費用に充てることができます。

3. 資格条件

- 1) 申請者は、奨学金支給の開始前に、大学または短期大学での課程を二年間以上修了、または高等学校を卒業し特定の職業に二年間以上従事している者。
- 2) 健康で学業成績優秀、かつ留学先の言語をマスターし、国情・国民を理解する熱意があり、親善使節としてふさわしい人物であること。
- 3) ロータリー関係者は、申請資格がありません。
- 4) 希望する留学機関の合格基準をみたしていること。

4. 奨学金の給付条件

奨学金の支給条件についてはロータリー財団国際親善奨学金申請書式またはR I のウェブサイト <http://www.rotary.org> をご参照ください。

5. 申請手続

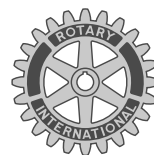
- 1) 申請者の現住所、本籍地、通学や勤務先のいずれかの地区内のロータリークラブを通じて申請しなければなりません。
- 2) 申請を受けたクラブは、本人と面接の上、奨学金の趣旨を十分に説明し、親善使節としての役割を理解させること。
- 3) クラブ推薦の候補者は、地区レベルで選考し、さらに地区推薦の申請書はロータリー財団へ送られた後、管理委員会の承認と留学機関の指定を受けます。奨学金の承認と指定機関は直接本人に通知されます。
- 4) 申請書は2012-13年度申請書をご使用ください。

6. 募集人数

第2710地区から若干名

7. スケジュール(予定)

- | | | |
|-------------------|-------|-------------------------------|
| 1) 各ロータリークラブ受付締切 | | 2011年1月末 |
| 2) 地区事務局受付締切 | | 2011年2月 4日(金) |
| 3) 奨学生書類選考会 | | 2011年2月18日(金) |
| 4) 奨学生面接 | | 2011年4月24日(日) |
| 5) 奨学生オリエンテーション | | 2011年5月29日(日) |
| 6) 奨学金の承認と指定機関の通知 | | 2011年12月～2012年1月まで(R I より本人宛) |





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブ紹介

敬老の日に慰問活動／山口中央RC

幹事 大塚正昭

クラブでは社会奉仕活動の一環で、横田晃一会長のもと、会員5人と山口県立大学生4人のメンバーで、9月20日に山口市駅通りの山口病院に慰問に伺いました。会員は各自、歌や曲に合わせて変装し、県立大学生のフラメンコ、最後にはお年寄りと全員で「月の砂漠」「故郷」「夕焼け小焼け」を唄い、楽しい時間を皆さんと一緒に過ごしました。また、最後には山口一紡院長をはじめ婦長さんのお礼の言葉を頂き、会員一同感激し、敬老の日の慰問活動を有意義に努める事ができました。



「2010年7月大水害支援金」に関する報告

ガバナー 前田 茂

この度の「2010年7月大水害支援金」に関しましては、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。

皆様からいただきました支援金総額2,965,272円は、特に甚大な被害を受けられた庄原地区(庄原RC)へ9月3日に送金いたしました。庄原RCからは支援金の一部を防災パトロール車贈呈資金として活用したいとのご要望が事前にあり、会長よりお礼状をいただきましたので、右にご報告いたします。

クラブ紹介

就職戦線スタートに向け、模擬面接実施／山口県央RC 職業奉仕委員長 松尾昭夫

来春卒業予定の高校生に対する採用活動が、9月16日に解禁されました。

当クラブは平成11年に職業奉仕活動として、山口県立山口農業高校の就職希望生徒を対象に「模擬面接」を実施。以来、学校側の強い要望により毎年実施しております。

当クラブ会員36名は、今年も9月上旬の2日間、就職希望者65名を対象に、「模擬面接」を実施しました。模擬面接は、会員3名が一組となり、一人ずつ約10分程度面接を行い、その後、各会員が講評という形をとりました。後ろでは、先生が記録係として観察しておられます。

当日は、松井校長より「就職指導の最終仕上げとなる模擬面接を、実際の企業経営者に行っていたら大変勉強になります」との挨拶を頂き、面接を開始しました。

来春卒業予定の高校生に対する県内求人倍率が、0.69倍(山口労働局調査7月末現在)というなかでの就職戦線のスタート。先生、生徒ともども真剣でありました。我々会員も、自らが採用する気持ち

で質問を投げかけ、また、激励の気持ちで厳しいアドバイスを行いました。真面目で、感じの良い生徒たちが多かったと思います。「どうか生徒たちが希望する企業に合格しますように」と祈りつつ、2日間の模擬面接を終了しました。



※以下原文

災害支援金交付のお礼

去る7月16日、庄原市を襲った未曾有のゲリラ的集中豪雨による土石流災害により大きな被害を受けた被災地に対し、国際ロータリー第2710地区の皆様から総額2,965,272円という多額の支援金を賜りました。今回の集中豪雨は、地区内各地で災害をもたらしたとの報道もございました。その中でも庄原地区が被害大と認められ、地区内の心をこの庄原にいただいたものと感謝しております。お寄せいただきました支援金で庄原市に防災パトロール車1台を贈らせていただくことはご案内の通りであります。残金につきましては別途支援金として庄原市に贈らせていただくことといたしました。被災地のロータリークラブを代表して心よりお礼申し上げます。

2010年9月21日

国際ロータリー第2710地区
ガバナー 前田 茂 様

国際ロータリー第2710地区G12
庄原ロータリークラブ
会長 内田 直恵



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



地区大会のお礼

2010-11年度 地区大会実行委員長 谷岡慶宣

爽やかな秋空のもとで、参加ロータリアンの皆様との懇親会が開催できましたことは、何よりも幸甚でありましたと

同時に、今では伝統ある大会を無事終えることが出来た安心感に包まれております。

大会初日の記念ゴルフ大会は、あいにくの雨天でしたが、それでも多くの参加者にご参集いただきました。本当にありがとうございました。

大会2日目も小雨になったとはいえ、些か心配いたしました。地区の皆様方を気持ち良く迎えるためには、天候も大変重要な意味を持つからです。とはいえ地区役員との大会諸委員会は粛々と進み、地区内の会長・幹事様を交えての本会議を迎え、特に、R I 会長代理の任を受けていただきました宮崎茂和様(福井R C)から心温まるお祝詞を賜りましたことは望外の喜びでありました。続く基調講演では、第2520地区より国際的レベルで青少年交換委員長等にご活躍の若林洋一氏を迎えて「青少年はロータリーの継承者」と題し、簡潔で要領を得た、とても分かりやすい青少年交換等の手法と課題についてお話しをいただきました。

夕刻からは、姉妹地区の韓国第3690地区の文基

坤總裁ほか30余名のロータリアンと共に、盛大に宮崎R I 会長代理を歓迎する晩餐会を開催し、楽しい交歓会が催され、その後の日韓交流パーティも大層賑やかなものとなりました。

さて、心配した天候も大会当日は晴天となり、約1,700名の関係者が集まり本大会(本会議・記念講演・大会懇親会)が開催されました。恒例の大会セレモニーは進み、地域教育環境への寄与とロータリー活動の広報という趣旨での児童・生徒送迎用ワゴン車を三次市教育委員会に大会記念事業として贈りました。昼食の松茸弁当を挟み、午後からは作家の曾野綾子氏の記念講演。周辺に娯楽施設がないのも影響してか、会場はほぼ満席。

演題は「世界の中の日本」でした。前田ガバナーが直々に依頼した講師だけあって、とても心に残る、日本人として良いお話し(お話しの記載は断られています)であったように思います。

さて、最大の大会目次でもあった懇親会は、G 12会員の大きな協力を得て実施できましたが、冒頭に記したように多くの方々に喜んでいただけたのではないのでしょうか。本当にありがとうございました。最後に、本大会にご協力いただきました全ての方々に、深甚なる敬意を表します。



前田ガバナー挨拶



宮崎R I 会長挨拶



実行委員長挨拶



懇親会



これはFAXをご利用の方だけのものです。

※このページは切り離すか、コピーしてご利用ください。

アンケートフォーム（ホームページ）をご利用の方は地区ホームページをご覧ください。

国際ロータリー第2710地区会員の皆様へ

ガバナー月信についてのアンケート

ガバナーの要請を受けて月信委員会が調査・分析し、報告するものです。ご協力をお願いします。

締切：2010年11月30日（火）必着
結果報告は月信に掲載します。

FAX:082-263-2323
地区事務局

【アンケートの目的】

近年、ガバナー月信の発行は、月信の全てをホームページ（HP）に掲載したり、主たる要項だけを記載（詳しい内容はホームページから）したものを配布している地区も増えてきています。〔中四国では第2690地区（岡山・鳥取・島根）がポイントのみ掲載であとはHP化。第2670地区（愛媛・香川・徳島・高知）は全HP化実施〕。

月信は本来、ガバナーが地区内の会長幹事に宛てた月例の書簡です。伝える手法が印刷だけではなく、印刷費・運送費等の経費節減や情報管理の効率化などを勘案し、当地区もHP化を進めたいと存じますが、このアンケートは本年度ならびに次年度への検討事項として会員皆様のお考えを調べるものです。

グループ	:	ロータリークラブ	在籍年数	年
------	---	----------	------	---

該当番号を○で囲んでください。

【問1】あなたは、ガバナー月信を読んでおられますか。

① 読んでいる ② 時々読んでいる ③ 読んでいない

④ その他の意見（ ）

【問2】ガバナー月信の発行について

① 会長幹事で良い ② 現状のままだがよい ③ 全てホームページ化でよい

④ その他の意見（ ）

【問2】の②「現状のままだがよい」と答えられた方にお聞きます。

【問3】月信ファイルを地区で作成していますが・・・

① 必要だ ② 必要ない ③ 各クラブで調達してもよい

④ その他の意見（ ）

【問2】の②「現状のままだがよい」と答えられた方にお聞きます。

【問4】その理由はなぜですか。

① すぐ読めるから ② ダウンロードが面倒臭いから ③ 月信は必要だから

④ その他の意見（ ）

【問2】の③「全てホームページ化でよい」と答えられた方にお聞きます。

【問5】その理由はなぜですか。

① 便利だから ② 紙の情報は不要だから ③ 環境問題や経費を考えて

④ その他の意見（ ）

全体的なご意見

ありがとうございました。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2010-11年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1 7クラブ												
長 門	86.40	87.32	4	34	32	0	0	32	5	0	2	▲ 2
下 関	87.08	90.03	3	49	49	0	0	49	0	0	0	0
下 関 中 央	91.92	90.92	4	30	31	0	0	31	5	1	0	1
下 関 東	84.83	84.42	4	52	51	1	0	52	0	1	1	0
下 関 北	85.71	88.20	4	42	41	1	0	42	0	1	1	0
下 関 西	96.36	94.17	5	30	32	1	0	33	1	3	0	3
油 谷 湾	100.00	100.00	5	13	14	0	0	14	0	1	0	1
計	90.33	90.72		250	250	3	0	253	11	7	4	3
グループ2 7クラブ												
萩	92.62	92.73	4	57	57	0	0	57	0	1	1	0
萩 東	94.78	96.52	4	24	24	0	0	24	0	0	0	0
美 祢	81.48	76.85	4	27	27	0	0	27	0	0	0	0
小 野 田	82.86	85.19	5	49	49	0	0	49	0	1	1	0
宇 部	87.21	88.87	4	52	54	0	0	54	2	2	0	2
宇 部 東	71.43	75.38	4	20	21	0	0	21	4	1	0	1
宇 部 西	69.47	72.86	4	51	51	0	0	51	1	0	0	0
計	82.84	84.06		280	283	0	0	283	7	5	2	3
グループ3 7クラブ												
防 府	87.70	89.68	4	61	63	0	0	63	0	2	0	2
防 府 北	96.97	93.17	3	20	22	0	0	22	2	2	0	2
防 府 南	87.90	87.38	4	30	31	0	0	31	4	2	1	1
山 口	97.08	95.42	5	51	56	1	0	57	3	6	0	6
山口中央	86.00	87.33	3	7	8	0	0	8	3	1	0	1
山口県央	99.31	98.83	4	35	36	0	0	36	1	1	0	1
山 口 南	74.47	79.35	4	38	39	0	0	39	3	1	0	1
計	89.92	90.17		242	255	1	0	256	16	15	1	14
グループ4 5クラブ												
光	95.24	95.72	3	50	50	0	0	50	0	1	1	0
周 南 西	100.00	100.00	4	40	41	0	0	41	2	1	0	1
徳 山	97.84	97.31	3	41	48	0	0	48	1	7	0	7
徳山セントラル	94.13	93.38	3	28	28	1	0	29	1	1	0	1
徳 山 東	97.96	98.53	5	50	50	0	0	50	0	0	0	0
計	97.03	96.99		209	217	1	0	218	4	10	1	9
グループ5 5クラブ												
岩 国	79.84	82.91	4	59	62	0	1	61	0	3	1	2
岩国中央	86.65	88.65	4	43	43	1	0	44	3	1	0	1
岩 国 西	88.31	89.27	4	63	63	0	0	63	2	1	1	0
柳 井	100.00	100.00	4	28	28	0	0	28	2	0	0	0
柳 井 西	98.14	97.52	4	28	28	0	0	28	2	0	0	0
計	90.59	91.67		221	224	1	1	224	9	5	2	3
山口県計	90.14	90.72		1,202	1,229	6	1	1,234	47	42	10	32
グループ6 7クラブ												
広 島	98.16	97.64	4	121	124	2	0	126	1	6	1	5
広島安芸	98.29	98.57	3	38	39	0	0	39	2	1	0	1
広島安佐	91.30	91.24	4	22	22	1	0	23	1	1	0	1
広 島 東	97.07	96.90	4	93	96	1	1	96	4	5	2	3
広 島 北	100.00	100.00	4	78	79	0	1	78	0	1	1	0
広島陵北	96.34	96.48	4	41	41	0	0	41	0	0	0	0
大 竹	83.82	79.78	4	33	34	0	0	34	0	2	1	1
計	95.00	94.37		426	435	4	2	437	8	16	5	11



2010年 9月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	100.00	3	57	59	0	1	58	5	2	1	1
広島廿日市	91.43	90.03	3	35	35	0	0	35	1	1	1	0
広島城南	96.90	96.75	3	41	43	0	0	43	1	2	0	2
広島南	97.50	97.67	4	84	87	0	1	86	0	3	1	2
広島東南	100.00	100.00	3	85	85	3	0	88	8	4	1	3
広島西南	100.00	100.00	4	63	62	0	0	62	3	0	1	▲1
広島西	100.00	99.92	4	85	85	0	1	84	0	0	1	▲1
計	97.98	97.77		450	456	3	3	456	18	12	6	6
グループ8 7クラブ												
江田島	90.28	83.86	4	19	19	0	0	19	0	0	0	0
東広島	98.44	97.62	4	31	32	0	0	32	2	1	0	1
東広島21	98.00	95.82	3	17	19	0	0	19	4	2	0	2
呉	91.29	93.44	4	69	70	0	0	70	0	2	1	1
呉東	84.73	86.53	5	32	31	0	0	31	0	0	1	▲1
呉南	91.47	88.56	4	46	46	1	0	47	3	1	0	1
西条	100.00	98.97	4	52	52	0	0	52	3	1	1	0
計	93.46	92.11		266	269	1	0	270	12	7	3	4
グループ9 7クラブ												
広島空港	80.56	80.87	4	26	27	0	0	27	2	1	0	1
因島	93.03	92.47	5	28	29	0	0	29	2	1	0	1
三原	89.25	88.69	4	68	68	0	2	66	2	0	2	▲2
尾道	85.03	87.56	4	72	72	0	0	72	1	1	1	0
尾道東	87.98	87.90	4	55	55	0	0	55	1	0	0	0
瀬戸田	85.70	86.30	4	15	14	0	2	12	0	0	3	▲3
竹原	88.92	90.35	4	37	37	0	0	37	3	0	0	0
計	87.21	87.73		301	302	0	4	298	11	3	6	▲3
グループ10 5クラブ												
府中	92.98	93.98	3	37	37	0	0	37	0	0	0	0
福山	96.12	95.25	3	83	84	1	1	84	0	2	1	1
福山東	91.71	89.74	5	52	52	2	0	54	0	2	0	2
福山丸之内	96.29	96.06	3	36	36	0	0	36	1	0	0	0
鞆の浦	87.86	87.03	4	34	35	0	0	35	0	1	0	1
計	92.99	92.41		242	244	3	1	246	1	5	1	4
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	84.76	87.42	4	39	42	1	0	43	4	4	0	4
福山北	97.78	97.48	3	44	45	0	0	45	0	1	0	1
福山南	84.91	84.85	4	61	61	0	0	61	1	1	1	0
福山西	88.37	89.66	5	42	43	0	0	43	2	1	0	1
松永	90.84	89.17	4	43	43	1	0	44	0	1	0	1
計	89.33	89.72		229	234	2	0	236	7	8	1	7
グループ12 5クラブ												
吉舎	98.80	97.93	4	21	21	0	0	21	0	0	0	0
三次	87.97	86.89	4	43	43	0	0	43	0	0	0	0
三次中央	96.00	95.37	3	48	50	0	0	50	8	2	0	2
庄原	86.39	89.90	4	37	37	1	0	38	4	1	0	1
東城	87.50	84.17	4	19	20	0	0	20	1	1	0	1
計	91.33	90.85		168	171	1	0	172	13	4	0	4
広島県計	92.47	92.14		2,082	2,111	14	10	2,115	70	55	22	33
2710地区計	91.31	91.43		3,284	3,340	20	11	3,349	117	97	32	65

※岩国中央RC：8月入会者及び内女性「0」⇒「1」へ変更



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



G5 第2710地区グループ紹介

[岩国・岩国中央・岩国西・柳井・柳井西]

G5ガバナー補佐
藤中 秀幸 (岩国中央RC)

グループ5の所在地域は山口県東部、即ち岩国市、柳井市及びその近隣の地域で、豊かな自然に育まれた歴史と文化の薫り高い地域に5クラブが所在しています。

岩国RCは、天羽満則会長の親睦活動に特に配慮しながら青年奉仕活動に積極的に踏み出したいとの決意で、本年度主催される岩国3クラブ合同例会では、広中平祐先生を招聘、その卓話は会員一同大いに楽しみにしているところです。

岩国中央RCは、藤本治道会長の全会員、各委員会の連携を密に絆をより一層強めながら会員増強に、また青少年育成活動に取り組む方針で、自然公園での植樹や森林教室の開催は地区補助金の対象になっています。

65名の会員を有する岩国西RCは、吉岡達生会長の下、

組織的にもバランスの取れた円熟した活動を展開されています。特に継続的に行われている岩国工業高校へのキャリア・インストラクターの派遣、市内各中学校でのAED講習会は着々と成果を上げています。

本年度50周年を迎える柳井RCは、有吉祐治会長の「和衷共同！50年の歴史を見つめ未来への情熱を持とう」のテーマの下、次年度ガバナー引き受けクラブとして会員の絆も強く、その積極的な活動は、長い歴史と伝統に裏打ちされた活力と力強さを感じさせてくれます。

柳井西RCは、松前俊健会長の「学びと友情」のテーマの下、全会員が若い会長をしっかりと盛り立て、暖かさとしさそして強い絆を感じさせてくれるクラブです。RC委員会、地域社会共同隊をサポートし、地域にしっかりと根づいた活動をしています。

以上、グループ5の紹介とさせていただきます。

新会員紹介

〈順不同〉



廣中 泰三
下関北RC
2010年9月7日
電気工事



村田 真美
防府南RC
2010年8月26日
酸素製造販売



竹本 省三
山口RC
2010年9月8日
電気工事



村田 和久
周南西RC
2010年8月3日
商業銀行



小柳 賛平
広島RC
2010年9月7日
住宅金融



田附 隆
広島RC
2010年9月14日
ホテル



沢田 武一
広島東RC
2010年9月1日
商 社



真部 哲
広島南RC
2010年7月2日
鋳造用資材配布



高田 秀穂
広島南RC
2010年7月30日
ビルディング賃貸



上野 充憲
広島南RC
2010年8月20日
専修学校



堀江 裕明
広島東南RC
2010年9月6日
市街及び郊外電車



古本 由美
広島東南RC
2010年9月6日
青果物卸売販売



山仲 巖
広島東南RC
2010年9月27日
グラスビーズ製造



舩本 知己
呉南RC
2010年9月7日
味噌製造販売



小坂 啓子
竹原RC
2010年10月7日
旅館業



後藤 昭人
福山RC
2010年9月13日
火災保険



浜田 一二
福山東RC
2010年9月22日
管工事



藤井 則行
福山東RC
2010年9月22日
老人福祉事業



佐藤 有紀子
福山赤坂RC
2010年7月6日
生コン



吉池 覚
福山赤坂RC
2010年10月5日
仕出し



田中 庸雄
松永RC
2010年9月13日
用 品



文庫通信 (277号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

- ◎「広報(Public Relations)とは…」 田岡久雄 2010 45p [申込先: 日本事務局 FAX(03)3903-3781]
- ◎「ロータリーマジック 違いをもたらそう」 江崎柳節 2010 197p [申込先: 江崎柳節 FAX(0568)77-0239]
- ◎「日本RC認証順位一覧」 前岡志郎 2010 56p [申込先: ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの心と実践」 D.2660 2010 90p [申込先: D.2660 FAX(06)6264-2661]
- ◎「我等の生業」 行田さくらRC 2010 87p [申込先: 行田さくらRC FAX(048)564-3020]
- ◎「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」 上田東RC 2010 28p [申込先: 上田東RC FAX(0268)21-3501]
- ◎「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか?〈DVD〉」 亀岡RC 2010 [申込先: 亀岡RC FAX(0771)25-2151]
- ◎「ロータリー情報マニュアル第3版」 D.2650 2010 78p [申込先: 洲上勝夫 FAX(0779)87-2560]
- ◎「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』〈DVD〉」 宝井馬琴(講談) さいたま新都心RC 2010 [申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

【福山南RC サイトURL及びメールアドレス変更のお知らせ】 福山南RCのサイトURL及びメールアドレスが変更となりました。

【新サイトURL】 <http://fukuyamasouthrotary.jp>

【新メールアドレス】 info@fukuyamasouthrotary.jp

【表紙の写真】 東城町「お通り」(庄原市)

お通りは、広島藩家老職東城浅野家の五穀豊穡祈願の依頼により行なわれたといわれ、江戸時代初期からの伝統行事です。神輿と行列で練り歩き、その後甲冑を着た武者行列も加わり今のようになっています。華麗な行列の特徴は母衣(ほろ)にあります。

母衣とは元来戦場で背後の矢を防ぐための武具ですが、子供の健康を願い「母の衣で包む」とした装飾に姿を変えたのが表紙写真の趣です。お通りのこうした形態は日本唯一のもので、毎年11月の第一日曜日に東城町の町中で開催されます。

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323
E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>
月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之
事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

2010-11年度 国際ロータリー第2710地区



地区大会



2010年10月8日(金)・9日(土)・10日(日)

3日間開催された記録／フォトギャラリー

10/8

記念ゴルフ大会 庄原カントリークラブ



10/10日

県立みよし公園カルチャーセンター



会場



10/9

会長・幹事会議 三次グランドホテル



講演／若林洋一氏

テーマ

『青少年はロータリーの後継者』



本会議

記念講演／作家 曾野綾子氏
テーマ『世界の中の日本』



RI会長代理歓迎晩餐会 グランラッセレ三次



大会懇親会

《野外パーティー》



宮崎茂和RI会長代理

前田ガバナー

日韓親善懇親会



第3690地区
文 基坤 總裁

